

特集にあたって

世界的な気候変動による異常気象が恒常化し、災害の頻発等で世界的に食料需給は逼迫しています。さらにウクライナ紛争が追い打ちをかけ、国連世界食糧計画(WFP)は「第2次世界大戦以降で最悪の食料危機」と警告し、食料価格の高騰に抗議する暴動も世界では起きています。こうした中、農業者人口が減少の一途をたどり、食料自給率が先進国で最低水準の38%のわが国は、まさに輸入依存からの脱却が待ったなしの状況に迫られています。

そのため食料安全保障の見地からも強く求められているのが、国民が必要とし、消費する食料を自国で生産する「国消国産」の推進です。本紙では、全国農業協同組合中央会(JA 全中)が10月16日を「国消国産の日」として全国運動を展開するのに合わせて、国消国産につながる地道な取り組みに挑む産地やJA、企業などの思いを伝えるとともに、今後の農業のあり方を考える特集を展開します。この特集がわが国の食料自給率の向上や国消国産の機運醸成の一助になればと願っております。

目次

J A組合長座談会

耕そう！大地と地域農業発展に向け
JAぎふ・岩佐哲司組合長 JAグリーン近江・大林茂組合長 JA松本ハイランド・田中均組合長 4・5

トップインタビュー

「食の安心守り支える」
JA全農 菅野幸雄会長
「現場力磨き所得増へ」
農林中金 奥和登理事長 6・7

現場レポート①

500ha 農地 多様な雇用で活力
北海道蘭越町 ㈱ファームトピア 8

現地レポート②

小さな街の直売所 世界が注視
福岡県 JA糸島「伊都菜彩」 9

提言① 食料安保は主権と命の問題

JA全中 菅野孝志副会長 10

提言② 食と農を左右 異常気象の暗雲

三重大学大学院教授 立花義裕氏 11

提言③ 道理にかなう「国消国産」

横浜国立大学名誉教授 田代洋一氏 12

提言④ 飢餓と環境 折り合い至難

宮城大学教授 三石誠司氏 13

提言⑤ 相当な覚悟と国消国産

農業ジャーナリスト 棚田みどり氏 13

国消国産

○食料安保 1万人シンポ
○秋まつり 食を見直す機会アピール
○JAタウン 送料無料キャンペーン
鹿児島全共 鹿児島、宮崎に名誉賞
米 2022年度 全国作況「100」9月25日現在 14

リレー談話室

藤井昌啓 JCA常務理事

読書の楽しみ 浅野純次 15

規模拡大曲がりかど

1面からつづく

谷口 生産資材価格の高騰問題では、これまでの規模拡大と法人化という農政路線の枠組みであり想定していたような危機が現れているのではないかと。というのは大規模な経営は資材を大量に買うからコストダウンできるはずですが、その資材は外国に依存しているものが多くなっている、今回の危機では大規模経営ほど厳しくなっているのではないかと考えざるを得ない。

しかし、規模拡大した農家が今大変苦しんでいます。審議会でも、農業者の委員から、これだけ規模拡大を進めてきたけれど人手も足りない、この先どうなるかという声が聞かれました。集落の農地のほとんどはその人が引き受けているということですが、集落から人がいなくなれば、残っているのは法人化したその経営者だけだということでした。

規模拡大してコスト低減を図り収益を伸ばす、というのが20年前の基本法で描いた姿だったと思います。なかなかそうはいかなかった。農産物価格の低迷に加えて、資材価格の問題もあるし、そしてマシナリーの問題もある。

逆になんか増やして後から牧草地を拡大していくという後追いになっています。規模拡大、規模拡大で来た20年ですが、その農家に合った経営規模だったのかというのを考えなければならぬと思います。国の補助事業も併せて見直していかなければならないと思っています。

谷口 今のお話は、決して一方的に農林水産省が悪い、政府が悪いということだけではなく、農産生産者もそれに乗っかってきたところもある、ということですね。生産者だからこそ自分の課題もあつたはずで、それをもっと問題提起して政策の身を委ねる努力が少し足りなかった面も、なかばないということでしょうか。

農業は教育にも一役

規模拡大と法人化

野村 20年前に制定した基本法を読むと、これから先は規模拡大し法人化をどんどん進めないとけないという考えでした。というのは農家人口が減っていくので、余った農地をどうするかということになりますから、どんどん専業農家を、しかも法人や、非常に規模を拡大した経営を耕種でも畜産でも作っていくことが必要でした。

下小野田 われわれの地域でも園芸農産畜産で大規模化、法人化が進んでいますが、その一つの課題には人手不足があります。人手がいらないのでこれ以上増やさない、大きくなっていく切実な声があります。

一方、大規模経営がいよいよ厳しく、農家の販売単価が下がっていること、その価格が安定していれば、コストをコントロールしてなんとか収益が出るんじゃないか、コストをいくら抑えても販売単価が下がっているもの、ですから経営が苦しくなっている。販売単価が安定すれば大規模化のメリットはまだまだありますが、人手がいらないのでこれ以上増やさない、大きくなっていく切実な声があります。

身の上にあった重要性
谷口 生産資材価格の高騰が小規模な農家にも影響を与えているのは大規模な経営と同じです。私は大規模の小規模模範といふことばかりを議論するのはあまり意味がなく、農業は地域ごとに違いがあり、それぞれで何を伸ばしていくか、ということを考えるべきだと思います。問題なのは日本全体が一つの方向だけに走り過ぎたことにあると思います。

野村 先日、福島県の復興の状況を視察に行きました。また相当の農地が耕作されていない状態でしたが、そこで設立された法人在農業大学や農業高校出身の若者が、人働いていました。その若者が、たまたま意見交換をしたんですが、みんなこの法に勉強したことをもって将来的には独立したいと言っていました。多くの住人地域外に出ていってしまっているから、経営の方はわれわれが地域の農業を守らなければいけないと思うから、この法人を拡大していきたいと言っていました。最終的には500社にしたいです。

チームジャパンめざし
谷口 現場からは農政に何を求めますか。
下小野田 今の危機を乗り越えるためには、国、地域、あるいは消費者がそれぞれ役割を担って取り組む必要があると思います。

国にぜひともお願いしたいのはやはり輸入原料です。飼料にしても肥料にしてもそれがなくては生産現場は立ち行かないです。すべてを自分でまかなうことはできませんので、国にお願いしたいのは輸入原料をしっかり確保する手当てをしていただきたいということです。

われわれの地域は畜産が盛んな県ですが、畜産の副産物をいかに生かして耕種と連携していくかということだとおもいます。地域内資源の有効活用は、たとえばでんぷん工場から出たでんぷんかすや青刈り稲、混ぜてTMRとしてJAの子会社農場の母牛1800頭の餌として使っています。この取り組みはもう10年ほど続いています。

「国消 国産」いかそう人と大地

現場の意欲を後押し



農林水産大臣 野村哲郎氏

農林水産大臣

野村 哲郎氏

JA鹿児島

下小野田 寛氏

東大名誉教授

谷口 信和氏

鼎談出席者

審議会ではこんな話も出ました。果樹園経営の委員が、今までにない現象が起

3面につづく

今こそ食料自給 「国消 国産」いかそう人と大地

社団法人 一般
代表理事 会長 中家 徹
副会長 理事 金原 壽秀
専務 理事 菅野 孝志
馬場 利彦
東京都千代田区大手町一三二(JAビル)

全国農業協同連合会

経営管理委員会 会長 菅野 幸雄
同 副会長 乗富 幸雄
同 副会長 折原 敬一
代表理事 専務 桑田 義文
代表理事 専務 安田 忠孝
東京都千代田区大手町一三二(JAビル)

全国共済農業協同連合会

経営管理委員会 会長 青江 伯夫
同 副会長 西沢 耕一
同 副会長 中川 泰宏
代表理事 専務 柳井 二三夫
代表理事 専務 村山 美彦
同 同 長島 佳史
東京都千代田区平河町二一七(JA共済ビル)

農林中央金庫

経営管理委員会 会長 中家 徹
代表理事 専務 奥 和登
副会長 理事 山野 徹
副会長 理事 中瀬 省
東京都千代田区大手町一三二(JAビル二七階)

全国厚生農業協同連合会

代表理事 会長 栗原 隆政
副会長 理事 長谷川 浩敏
代表理事 専務 河地 尚之
常務 理事 木下 春雄
常務 理事 新美 健司
東京都新宿区市谷船河原町十一

社団法人 一般

代表理事 会長 櫻井 宏
副会長 理事 篠原 末治
代表理事 専務 青木 貴晴
東京都千代田区外神田一十六一八

全国農協観光協会

代表理事 会長 櫻井 宏
副会長 理事 篠原 末治
代表理事 専務 青木 貴晴
東京都千代田区外神田一十六一八

今こそ食料自給

身の丈が持続性に

みどり戦略で新局面

2面からつづく

水田を活用して青刈り稲を作っていた生産者とJA、子会社農場が連携を

JAは農生産法人を三つ経営して

食料安保とみどり戦略

谷口 食料安全保障の問題は、これを

野村 最初にみどりの食料システム戦

谷口 食料安全保障の問題は、これを

谷口 食料安全保障の問題は、これを

谷口 食料安全保障の問題は、これを



J A 鹿兒島きもつき組組合長 下小野田寛氏



東大名誉教授 谷口信和氏

未来を開く耕畜連携

足が生じてくるのではないかと思います。

谷口 地産地消、国産国産が大事です

下小野田 一方で鹿兒島は中山間地域

谷口 地域の条件をどう生かすかとい

野村 谷口 地域の条件をどう生かすかとい

谷口 地域の条件をどう生かすかとい

谷口 地域の条件をどう生かすかとい

J A 全中会長 中家 徹氏



「国産国産」自分ごととして

くことが重要だ。

二つ目は「食料安全保障の強化

谷口 食料安全保障の問題は、これを

谷口 食料安全保障の問題は、これを

がやはりこの種に向いた米を植えよ

今までは、水田で主食用以外のものを

高齢化が進み厳しい現状が示されていま

畜産は農水省が繁殖雌牛の増頭を進

下小野田 現場は非常に厳しいです

谷口 食料安全保障の問題は、これを

野村 谷口 食料安全保障の問題は、これを

谷口 食料安全保障の問題は、これを

谷口 食料安全保障の問題は、これを

今こそ食料自給 「国産 国産」いかそう人と大地



株式会社

科学飼料研究所

代表取締役社長 北谷 憲二 郎



全国農協食品株式会社

代表取締役社長 阿部 光一



全農エネルギー株式会社

代表取締役社長 和田 雅之



全農グリーンソース株式会社

代表取締役社長 熊坂 準三



全農パルテイス

代表取締役社長 中野 吉庸



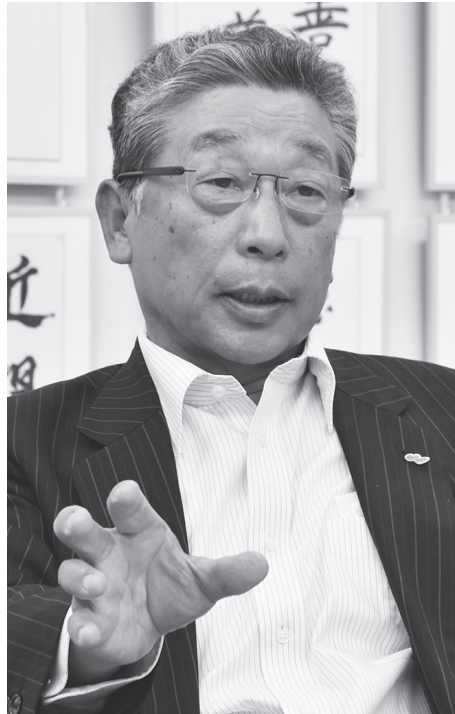
全農物流株式会社

代表取締役社長 寺田 純一

今こそ食料自給「国消 国産」いかそう人と大地

誇りと所得を両輪に

日本の農業の未来は、いつまでもなく各地域の特色ある農業の振興にかかっている。JAはその移になる組織であり、地域住民、消費者との結節点としての役割発揮が期待されている。地域農業振興と「国消国産」の実現に向けJA組合長に話しかけてもらった。



J A松本ハイランド組合長 田中均氏

所得や自給
米粉活用を

4面からつづく

岩佐 食料自給率についてですが「これこそ農協の仕事?」と思ってしまふんです。

消費者が国産ではなく輸入物を選択する。価格が安いから。そういう時生産者に何ができるか。一つは卵が1個50円でも、おいてみて安心なのがいかにと啓発していいことや、コスト低減するとはわかれの仕事ですが、食料自給率を上げるのが農協の役目だというのがちょっと違うのではないのでしょうか。

田中 同感です。

岩佐 私たちは、消費者や事業者、生協などもメンバーになつてもらうコンソーシアム(共同事業体)を立ち上げようと考えています。もちろん農家、そして有識者にも意見をもらいます。

その関係で先日、有機無農薬が大好きな女性と話したのですが、彼女が先日「何で日本には有機が根付かないのか?聞かれ、農協があるから」と言えなそうです。私が「ひょっとして農協のことを悪くしただけだと思いませんか?」と聞いたら、「昨日までそう思っていました。そういう誤解も拭きふつしよーしたい。きちんとした理解をまず得て、次に農産物を買ってもらい、農業の応援団になつていただく。応援団になつた人が准組合員になる。そうなる」と、准組合員問題の一つの解決にもなるかなと思つています。

こういう取り組みを通じて、もっと生産力、県の自給率を上げることができ

きるのじゃないかとは思います。

大金 大林さんが紹介する「地域商社」といい、岩佐さんが夢の「コンソーシアム」といふ新しい発案と受け止めたが、「消費を課題共有する」といった理念的な訴えではなく、具体的な事業方式を提案し、これを共に実践していくという着想は大いに刺激的ですね。田中さんはいかがでしょうか。

田中 大林さんの地域は正直うらやましいですね。産産がそれだけあって「耕畜連携」ができて、われわれにも畜産はありますが、30億円程度で年々減つていけるのが現状です。

食料安保は
国民マター

そのなかで自給率問題については私も生産者の問題じゃない、消費者の問題だと思つています。過去、国産米が不作でタイ米を輸入したことがありましたが、なげに、ど元過ぎれば熱さを忘れちゃう。生産者にとって自給率は「経済の問題」ですが、消費者にとっては「生存の問題」だと思つています。そこを追求しないと。「お願いしま」調の消費拡大では消費者に刺さらないかなと思つています。

短期的には異常気象で不作が続く、長期的には人口増で世界的な食料不足になつていくのが目に見えています。その危機意識を消費者の皆さんに胸に刺さるようになら展開していくか。「あなた方の問題です。生産者の問題じゃないです」と。

米の消費拡大でいつと、鍵は「米

耕そう！大地と地域農業発展に向け

「粉」だと思つてます。米粉の消費量は「向かい風だからこそ風車を回そう」と年々1万トンです。米の生産量76万トン(2021年)の1%にもいきませんが、12年で8倍に伸びています。米粉を使ったパンなどを売りたいのですが、米粉は高い。製造業者が中小零細で製造工程にコストがかかるためです。米粉の検査も普通の米と同じで、胴割れがあるミックスが落ちます。米粉は砕くので割れても構わないじゃないですか。だから米粉専用の検査規格を設ける。JAFグループとしても行政としても「米粉」に力を入れていく必要があります。国産米粉パンを一人が月3個食べる目標率は1%上がります。



文芸アナリスト 大金義昭氏

食の安心感
農協を核に

岩佐 日本はずっと「農業はほうでよい」という政策ではなかったかと思つてあります。「農業は悪者」

「農業は金食い虫」だ。欧米のほうに補助金は余裕多いけれど、消費者には教えない。先ほど大林さんが遺伝子組み換えの話されたけど、大豆をかう時には必ず表示をしますよね。一方、養殖の「近メダカ」はブランドで売つていますよね。それに比べて農協はイメージ戦略が足りないと思つています。だから全国では国産農産物の安全性、あるいは環境への配慮、ここに情報発信を傾注すべきだと思つています。地道なことで、それぞれの単協が地域のなたちと信頼関係をどう結ぶか。ただ、そこで問題なのは単協職員員の「やらせ感」です。

大林 ありますね。岩佐 特に行政に協力すると、行政に言われたことを行つて受け身で

しているJAが総合事業の一環として「子ども食堂」のようなものをファミリーマートやネットなど運動して地域で企画展開していけないかと思うのですが。そうすれば「協同組合」としてのJAが持つ温かい心や高い志が広く国民の皆さんに具体的に伝わるのではないかと。協同組合原則」に掲げる「地域社会への関与」の正しさですね。田中 岩佐さんが言われた「JAが悪者になつていく」というのは、利益・圧力団体と見られているからだと思つています。かつての米価運動から始まつて、そういうイメージを変えたいためには、言われたような活動は確かに必要だと反省しています。

協同の力で
一点突破を

その上で、まずは同じ協同組合セクターのなかで連携し、互いに理解合つて運動を広めていきたい。もう一つは政府に対してですが、たとえばフルウェーのサーモン、ニュージーランドのキウイフルーツ、この生産と世界への輸出を伸ばしたのは多額の「国策」です。だから米粉も民間任せではなくて、賈しないので、思い切つて予算を付けてほしい。「もつとご飯を食べよう」といふら言つても、宣伝でし好は変えられないので、消費者のし好や需要にあった供給努力を、政府としてもJAFグループとしても「一点突破」で進めることが必要だと思つています。

大林 JAとしても一懸念やつていますが、それ以上のことはやっぱり国やつてもらわないと。自給率を考えて旗を振るのは、国の役目だと思つています。

岩佐 国でいうと、「みどり戦略」を出したのは評価しています。ただ、裏付けとなる予算が生産者側にはあまりにも少ない。「川下」には経産省の予算がいつい付くのですが、農業は軽んじられている。「後向き補助金」ではなく、農業が自立できるように「前向き補助金」をつくってほしい。単協は、たとえば「子ども食堂」のような取り組みをわれわれ三つの単協から全国に発信しましうかね。

大金 知る人ぞ知る三つのJAが県境を越えて連携されたら、インパクトは大きいでしょうね。JAの高い志を「見える化」して広く伝える底力を発揮してほしいと思つています。

岩佐 確かに、国民の皆さんに「農協で素晴らしい」と思つてもらいたいですね。

座談会を終えて

3JAともに地域特性を生かした名うての広域合併JAだ。その先頭に立つて、試行錯誤を重ね、現状突破に挑んでいる前線姿勢に脱帽するばかりだ。地域農業を双肩に担い、果敢に奮闘しておられるトップの皆さんのご自愛を切にお祈りしたい。(大金)

今こそ食料自給「国消 国産」いかそう人と大地

安心・安全の
パフ、マスク、家庭紙他

スズラン株式会社

本社 〒462-0023 名古屋市中区安井四丁目1番29号 ☎ (052) 981-8501(代)

工場 上海・蘇州・常州・ベトナム

支店 東京

2022年 秋季特集号

JA三井リース株式会社

代表取締役社長執行役員 新分 敬人

〒104-0061 東京都中央区銀座8-13-1 銀座三井ビルディング TEL 03-6775-3000 FAX 03-6775-3795

JA三井リースオート株式会社

代表取締役社長 鈴木 章洋

〒104-0061 東京都中央区銀座8-13-1 銀座三井ビルディング TEL 03-6775-3100 FAX 03-3543-9280

公益法人 全国農業共済協会

会長 高橋 博

〒102-8411 東京都千代田区一番町19番地 電話 03 (3263) 6411

生活クラブ事業連合
生活協同組合連合会

会長 村上 彰一

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-24-20 KDX新宿6丁目ビル5F 電話 (03) 5285-1771(代)

生活協同組合連合会
コープ中国四国事業連合

代表理事 理事長 小泉 信司

〒732-8504 広島市東区二葉の里一丁目1-46 電話 (082) 236-6835

想いをかたちに 未来へつなぐ

 TAKENAKA

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13 tel: 06-6252-1201
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 tel: 03-6810-5000

今こそ食料自給

分断される
世界見据えて

作山 農業者にとって生産資材価格の高騰の影響がかなり深刻になっています。日本の農林水産業に与える影響についてはどのように捉えていますか。

奥 もともと担い手不足や農地の減少などで構造的に生産力が弱っているところに、第一波として気候変動が襲ってきました。大雨や台風で本年に毎年のように被害にあっており、生産者からすると強烈なボディーブローのようなパンチを浴びていると思います。その次の波がまさにコロナ禍です。人口が減少しているところに加えて、コロナ禍で相当需要が減り、単価も下がっています。

今回はそれに加えて、肥料、飼料、燃料という3料高で生産コストが上がりました。一方で、需要が減ったために単価は低い。つまり、入り口と出口で大差が生まれているという状況だと思います。

私の心象風景的には、もともと強くなかった国内生産力という点に、根拠が二重三重に積もっているという印象です。なかなかこの根拠が溶けずにはいなか、母屋がつぶれないようにしているかと思いますが、この30年続いたグローバル化のなかで、いろいろなことがあり、早くも手に入れたらというトレンドは終わる可能性があります。世界の分断が進めば、肥料・飼料・燃料の調達は非常に厳しくなっていくと思います。その意味では、この第三波で積もった根拠は、なかなか溶けないのではないかと考えています。

コロナ禍にもなう需要減の部分は、この先インバウンドを含めて変化があるかも知れませんが、輸出によって需要を拡大することはあるかもしれません。

インタビュー

明治大学教授 作山 巧氏

国民運動と農業 所得向上を支援

作山 確かに厳しい状況ですが、一方で一般国民も含めてかなり危機感を持ち、食料自給や国産国産に関心が高まっていると思います。そのなかで農林中金として食料自給や国産国産にどう対応されるのでしょうか。

奥 ややもすると、生産側から国産を食べるべきだというお世辞や要ればならないことは多々ありますが、

ち返って金融面のサポートに取り組んでいきたいと思います。

それから肥料や飼料については、国民のみなさんからするとまだあまりリタイが少なくないと思います。農産物を作るいちばん最初のところでい

ば、肥料はほぼ100%海外に頼っているわけですし、飼料も海外のウモロコシが中心だというところになる

自分たちが食べている大元はほとんど海外に依存していることになりまし

それをこの機会にしっかりと理解して

作山 同時に農業生産基盤の維持・強化への貢献も農林中金には期待され

ると思います。その意を力を入れてい

ことをお聞きください。

奥 政策としてやっていただか

ればならないことは多々ありますが、

きではないかという事です。

農業者の所得については、1年ほど

かけてという数字を追いかけていく

のかを議論し、実際に取引先の農業法

人なども話し合いをしました。その

なかで大々固まったのが、農業者の営

業利益と減価償却費、そして人件費で

す。それらが我々が付加価値をご提供

したことで昨年とくらべて増えている

かどうか。それをまずは追いかけてみ

ようという事です。

対象については、まずは農林中金が

コンサルティングをしている農業法人

の取引先を中心に始めようとしていま

す。その次には投資先、融資先、将来

的には地域のJAと取引のある農業者

全体に輪を広げていければと考えてい

ます。

人員再配置で
現場力強化



作山巧氏

を考えていくということが重要で

それは単に融資だけではなく、出資

や販売などつながるというビジネス

マッチング、農業経営の改善に向けた

コンサル力の発揮も求められます。ま

た川上だけで捉えると市場規模は10

兆円にしかありませんが、食べる人の

ことまで捉えれば100兆円近くにな

るわけですから、バリュチェーン全

体で考えて川下の利益を少しも川上

に持つていくという努力をしていくべ

きではないかという事です。

農業者の所得については、1年ほど

かけてという数字を追いかけていく

のかを議論し、実際に取引先の農業法

人なども話し合いをしました。その

なかで大々固まったのが、農業者の営

業利益と減価償却費、そして人件費で

す。それらが我々が付加価値をご提供

したことで昨年とくらべて増えている

かどうか。それをまずは追いかけてみ

ようという事です。

対象については、まずは農林中金が

コンサルティングをしている農業法人

の取引先を中心に始めようとしていま

す。その次には投資先、融資先、将来

的には地域のJAと取引のある農業者

全体に輪を広げていければと考えてい

「食」というものは人間を
形成する基本中の基本で
あり、国民が食に困るこ
とがあれば国は最低限の
強化に向けた大胆な対策
の拡充強化や、輸入依存
穀物の増産・米穀増利
活用等の推進など、予算編
成に向けたJAグループ
の重要事項について
説明した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

「食」というものは人間を
形成する基本中の基本で
あり、国民が食に困るこ
とがあれば国は最低限の
強化に向けた大胆な対策
の拡充強化や、輸入依存
穀物の増産・米穀増利
活用等の推進など、予算編
成に向けたJAグループ
の重要事項について
説明した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

「食」というものは人間を
形成する基本中の基本で
あり、国民が食に困るこ
とがあれば国は最低限の
強化に向けた大胆な対策
の拡充強化や、輸入依存
穀物の増産・米穀増利
活用等の推進など、予算編
成に向けたJAグループ
の重要事項について
説明した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

このあと生産現場を代
表して2人が意見表明し
た。酪農現場を代表して
JA鉾田大田(北海道)の
徳田重一組合長は「今の
酪農現場を一言でいうと
五里霧中で前が見えない
状況。餌高に資材高騰は
経営を圧迫し、牛の個体
価格も大暴落しているう
え、さらに生産抑制があ
り、経営が成り立つレベ
ルになく本当に酪農家は
廃業してしまつと窮状
を訴えた。そのうえで鉾
路で開いた集会に100
0人もの酪農家が集ま
り、この食料自給を確立
し、しっかりと来年度の予算も
増額を獲得して有効に活
用したいと強調した。

今こそ食料自給 「国消 国産」いかそう人と大地

株式会社 トーモク

代表取締役 社長執行役員 中橋 光男

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目2番2号 丸の内三井ビル
電話 (03) 3213-6811

2022年 秋季特集号

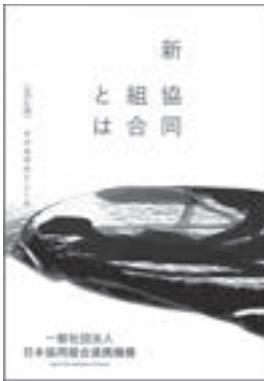
『新 協同組合とは』<5訂版> ～そのあゆみとしくみ～

協同組合の入門書として、また、新たに協同組合の
一員となった組合員や役員に必読の一冊です。

購入は、家の光協会まで

一般社団法人 日本協同組合連携機構(JCA)

代表理事会長 中家 徹 (JA全中 代表理事会長)
代表理事副会長 土屋 敏夫 (日本協連 代表理事会長)
代表理事専務 比嘉 政治



東洋埠頭グループ～産地と国内外を結ぶ物流サービス～

日本の貿易をささえて。

独自のノウハウと幅広い物流ネットワークを駆使し、お客様のニーズにお応えします

川崎支店(専用埠頭、サイロ・倉庫群)

農産物の輸出入・流通・保管で豊富な経験と、確かな実績でお客様の物流をサポートします。

東洋埠頭株式会社 代表取締役社長 原 匡史

東京支店、川崎支店、東福島支店、大阪支店、博多支店、鹿島支店、志布志支店、大井事業所、常陸那珂事業所

株式会社東洋トランス(モスクワ、バンコク、上海) URL <http://www.toyofuto.co.jp/>

素材を極め、未来を拓く ChemMat



日鉄ケミカル&マテリアル 化学品事業部 化学品一部
NIPPON STEEL Chemical & Material

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-13-1 日鉄日本橋ビル TEL.03-3510-0327
(工場) 芦田 大分 木更津 <https://www.nscm.nipponsteel.com>

NIPPON STEEL

全国にネットワークを展開する登録検査機関



理化学分析
残留農薬、カビ毒、微生物、放射能、重金属、米の原産国判別、栄養成分、穀物の加工適性、容器包装等の分析・評価を行います。



農産物検査員育成研修
検査員の育成及び検査技術の維持向上のためにいろいろな研修を行います。
・国内産農産物検査コース
・飼料用米検査コース
・鑑定研修会・講師派遣



米の品種鑑定
SNPs(スニップス)法によりDNA塩基配列の違いを検出して、品種を鑑定します。イネ、小麦、大麦、粟、雑穀など、生産・流通時の形態に合わせて幅広く対応します。



米の食味試験
ご飯の美味しさを、官能試験と理化学分析の両面から評価します。

一般財団法人 日本穀物検定協会
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町15-6製粉会館 電話03-3668-0911
URL <https://www.kokken.or.jp>

今こそ食料自給 「国消 国産」いかそう人と大地



ソバの収穫機と走出さん



北海道蘭越町 (有)ファームトピア

北海道蘭越町のある道央地域は、ファームトピアのある道央地域は、

ソバ4000畝、製粉も

栽培品目のなかで、ソバはもともと

多く、作付面積は全国でもトップクラ

スの4000畝に近い。農業を営むに

栽培したソバを自社内にあり、そば工

房の石臼で挽き、製麺会社に委託

し乾燥にして全国に販売する販売は

問屋を通さず、口コミで広め、道内はも

とより、西は島根県まで、南は、

さんに直接供給する。

ファームトピアのある道央地域は、

ソバ4000畝、製粉も

栽培品目のなかで、ソバはもともと

多く、作付面積は全国でもトップクラ

スの4000畝に近い。農業を営むに

栽培したソバを自社内にあり、そば工

房の石臼で挽き、製麺会社に委託

し乾燥にして全国に販売する販売は

問屋を通さず、口コミで広め、道内はも

とより、西は島根県まで、南は、

さんに直接供給する。

ファームトピアのある道央地域は、

ソバ4000畝、製粉も

栽培品目のなかで、ソバはもともと

多く、作付面積は全国でもトップクラ

スの4000畝に近い。農業を営むに

栽培したソバを自社内にあり、そば工

房の石臼で挽き、製麺会社に委託

し乾燥にして全国に販売する販売は

問屋を通さず、口コミで広め、道内はも

とより、西は島根県まで、南は、

さんに直接供給する。

ファームトピアのある道央地域は、

ソバ4000畝、製粉も

栽培品目のなかで、ソバはもともと

多く、作付面積は全国でもトップクラ

スの4000畝に近い。農業を営むに

栽培したソバを自社内にあり、そば工

房の石臼で挽き、製麺会社に委託

し乾燥にして全国に販売する販売は

問屋を通さず、口コミで広め、道内はも

とより、西は島根県まで、南は、

さんに直接供給する。

ファームトピアのある道央地域は、

ソバ4000畝、製粉も

栽培品目のなかで、ソバはもともと

多く、作付面積は全国でもトップクラ

スの4000畝に近い。農業を営むに

栽培したソバを自社内にあり、そば工

房の石臼で挽き、製麺会社に委託

し乾燥にして全国に販売する販売は

問屋を通さず、口コミで広め、道内はも

とより、西は島根県まで、南は、

同じ地域でも、札幌市のある石狩野
など、異なる、必ずしも土地条件に恵
まれていない。ファームトピアの50
0畝の農地の多くは、中山間地にあり、
およそ1000カ所に分散している。
その範囲は羊蹄山を望むところから
日本海が見えるところまで、およそ、
その間の距離は100キロを超し、行政区
域では4町にわたる。



大型の収穫機を運転し、ソバの収穫をする岸本さん

農の技術 途上国で生かす

帯広畜産大学を卒業して、
入社4年目の岸本祥奈さんは
「もともと土に触ることが好
きでした。それに私たちにと
って大事な食料をつくる人が
減っているのをみて、なんと
かしなくてはと考えていまし

帯畜大出身
岸本祥奈さん

たので、実地で学べると思っ
てこの道を選びました。同じ
オフィスで働くより、ここで
の仕事は、場所や内容が変わ
り、毎日が新鮮で楽しいです。
将来は発展途上国で農業の仕
事がしたい」と意欲を示す。

Creating the Future
SATAKE

美味しさか、栄養か、
その先へ行く。

生きるために必要な基礎代謝。
20%は脳の活動に費やされ、
お米の糖質は重要なエネルギー源となる。
機能性成分は身体を元気に保つ力となり、
人の営みに英気を与える。
お米が持つ美味しさと栄養の無限の可能性を信じ、
サタケは今、品質・安全保証の確立に向け動く。

豊かで持続可能な地球を目指して。

 <https://satake-japan.co.jp>



写真の棚田は、クミアイ化学工業が賛助会員として支援する静岡県菊川市のせんがまち棚田です。

いのちと自然を守り育てること
私たちの変わらぬ永遠のテーマです。

クミアイ化学工業は、「いのちと自然を守り育てる」のテーマのもと、
地球規模の問題である「食料の確保」および「環境の保全」に
貢献できる企業を目指して、日々挑戦をしております。
安心・安全な農業生産に寄与し、豊かな自然環境を未来の世代に残すため、
私たちは行動しております。

代表取締役社長 高木 誠

クミアイ化学工業株式会社 本社：〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 03-3822-5036 <https://www.kumiai-chem.co.jp>

自然に学び自然を守る
クミアイ

今こそ食料自給

「国消 国産」いかそう人と大地

小さな街の直売所 世界が注視



41億円を売り上げるJA糸島産直市場「伊都菜彩」

「輝く小さな街」
世界ランク3位

英国を拠点にした世界的な情報誌『MONOCLEモノクル』が、人口25万人未満の街を対象とする「輝く小さな街」2021年ランキングで、糸島市を世界第3位に選んだ。糸島市は福岡市と佐賀市に接する人口10万2000人の22年4月時点の都市で、昔から「山紫水明」の地と呼ばれ第一次産業が中心である。モノクル第3位に選ばれた大きな根拠がこの点にある。

合併以来60年間
第1次産業リード

JA糸島は、1962(昭和37)年11月に当時の糸島町の14農協と2連合会による広域合併により、行政区域を超えた全国初の「郡・農協」誕生以来60年の歴史がある。19年12月、中国・武漢で発生し世界中に広がった新型コロナウイルス禍の下でも、毎年販売品販売

JA糸島(福岡県) 伊都菜彩



JA糸島の販売高102.5億円(21年)

地域ぐるみ 「身土不二」

高100億円以上を達成している。多くの専門部会がある中で、特筆すべきは、1976(昭和51)年に設立された国産作物経営者会議(25農協の組織)と、県産作物協議会設立のきっかけとなった、1985(昭和60)年12月にJA糸島事務局として設立された糸島稲作経営研究会である。全国でもJAが事務局として世話をしているのはJA糸島だけであり、2014(平成26)年には30年史「糸島稲作経営研究会の軌跡」を出版している。

ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安などにより、迫る食料危機。日本をどう守る」という危機感をもたらし、特集「今こそ 食料自給」「国産国産」いかそう 人と大地」のテーマを掲げ、実践している福岡県糸島市にある地産地消の拠点「伊都菜彩(いづなさい)」について、直販課長の高橋志直に聞いた。

取材・高武孝充元JA福岡中央本部部長



高武孝充氏

JA直営地産地消拠点「伊都菜彩」

JA糸島の直売所構想は、1995(平成7)年に策定された「ワン溢あふれる糸島農業」の中で掲げられていた。その後2003(平成15)年に策定された「生命産業をめざす糸島農業」が直売所建設の拍子をかけ、JA糸島直営の直売所「伊都菜彩」は、07(平成19)年4月に設立された。実は12年の歳月をかけた設置場所、商圏調査などを綿密に調査したうえでの直売所だ。そのコ

商品も多彩 学給後押し

JA糸島の本店には、中国を語源とする「身土不二」の看板がたてられている。高橋志直課長によれば、伊都菜彩の運営の強化のために以下のような取り組みを進めている。

①売り場での品切れ防止のため、売りに上げる野菜の配給、バックヤードに備えて出荷促進および定期的な不足・問い合わせのある情報を伝え、作付け拡大を図っている。

②出荷の維持・拡大のために営農部署などの連絡を密にし、現在の出荷者は1000人を超えている。

③食品事業者(福岡市を含む)への供給拡大のため、糸島市が認めた地産地消応援団「加入事業者」への売り上げは、2000万円(21年度II対前年比14%)となった。また、伊都菜彩へ来店できないお客様・飲食店への宅配・金決済の活用が800件、令和3(2021)年12月1日に開始したECサイト販売が148件に留まったが、このシステムは販路拡大の可能性が大きい。

④6次産業化への取り組みとして、糸島産小麦・ミニトマト・糸島みかん・ぶらんとなどのチーズを使用した冷凍ピザ、JA女性部と連携して甘酒ゼラチンを商品化した6次化商品全体で

直売だけで41億円販売

3155万円の売り上げ実績であった。6次化商品売り上げのうち、糸島産小麦100%を使用したラーメンなど、1800万円を占めている。

また、JA女性部との連携で子ども食堂や九州大学への「食の支援」(糸島ブランドパン)を月に数回行っている。

さらにユニークな取り組みは、令和4(2022)年1月からの来店できない高橋のために始めた買物代行業者との連携である。福岡市をめぐって徐々に出てきているという、こうした産直市場「伊都菜彩」へのニーズが地産地消推進のための日々の努力が多種多様な出商品の維持・拡大および糸島市との連携、さらには糸島市内外の食品業者、飲食店等々との連携を共有し、JA糸島産直市場「伊都菜彩」が全国一位の売り上げを維持していることは今更言うまでもない。

糸島市とJAとは「表裏一体」の関係

新型コロナウイルスが拡大し、とりわけ全国的に小・中学校・高校が休校となる中で、農産物の販路が縮小した。JA糸島は20年産米概算金を握りしめたものの、21年産米概算金は引き下げざるを得なかった。加えて、21年産米はコメ余りで在庫が膨らんでいる。22(令和4)年9月、糸島市は100%を買い上げ、家畜飼料用、生活困窮世帯や子ども食堂などへの支援として活用する方針である。

6次化や行政と連携



高橋志直直販課長

8月の地産地消推進によれば、「地域食料の活用促進、PR、糸島市直売所ネットワーク会議による直売所間の連携や機能拡充の事業に対し直売所活性化事業により助成を行い18直売所の売り上げ向上を図ることで地域食料の活用促進を図る」とある。

具体的な一つは「糸島市学校給食地産地消推進検討会議」を設置し、学校給食のオーダーに充てられる生産者グループや直売所と連携した流通システムを検討するなど、地産地消の向上や食の推進である。

一つは、市内の地産地消に賛同する飲食店などで糸島市が認めた「地産地消応援団」に加入した店舗数は118店、令和3年3月末に増加し、市内農産物の地産地消に協力しているのが、市の協力店舗の更なる掘り起こしが必要だといふ。

一つは、今後の取組の方向性として①学校給食の他、保健福祉施設、飲食店、食品加工事業者、宿泊施設などでの糸島産食料の活用促進の直売所の魅力を向上させる取り組みにより集客数を増やし、地域食料の更なる活用促進②直売所が地産地消の情報発信拠点となるような仕組みを検討(生産者グループの担い手不足の解消)だ。

取材を終えて

新型コロナウイルスの影響による売り上げ減少、またロシアのウクライナ侵攻・円安の影響による消費の落ち込みに屈することなく、関係機関や関係部署との積極的な連携、もの静かに見える高橋志直課長からはJA糸島産直市場「伊都菜彩」へのゆるぎない拡大意欲への確かな手ごたえと行政の視野を超えた産直に携わる喜びを感じた。また、糸島市農力を育む基本計画は市役所主査の岡本由貴氏に教えていただいた。感謝します。

速く効く。
あの害虫にも効く。
だから、
収量に差がつく。

さらに多くの害虫に使えるようになった!

グレーシア[®]乳剤

野菜・茶用殺虫剤

効きの速さ
有効成分が直接害虫に作用するから、作物が食べられる前に駆除できる。

対象害虫の幅広さ
チョウ目害虫やアザミウマなど幅広い害虫に効く。

■有効成分フルキサメタミド配合、抵抗性コナガにも卓効
■葉内に薬剤が浸透、葉裏の害虫も退治
■幅広いチョウ目害虫に効果 ■殺虫効果は約2週間持続

*1 作物によって適用害虫は異なります。詳しくはWebをご覧ください。
*2 効果は害虫の発生密度や天候、栽培環境等によって異なる場合があります。

TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
https://www.nissan-agro.net/

日産化学株式会社

食と農と大地のソリューションカンパニー ISEKI

速くてカンタン

かんたんに扱える操作性と、移動から刈取のトータル作業時間を短縮した高い作業能力。コストパフォーマンスと高い性能を兼ねそろえたフロンティア ラビッド誕生。

ISEKIカンパニー
Frontier Rapid

HVZ220 (2条刈) HVZ323 (3条刈)

今こそ食料自給「国消 国産」いかそう人と大地

食と農を左右 異常気象の暗雲

今年、夏も異常に暑く、さらに暑さが9月にまでおよび、9月の1カ月平均で観測史上最高気温を記録した地点も多かった。今年は9月もまだ夏だったのである。一転して10月になると一気に寒くなり、まるで冬さながらの天候に急変し、早くも暖房の季節を迎えている地域もある。これは今年に限った現象ではない。記録的猛暑、梅雨期や夏の記録的豪雨、暑い秋、早い冬の訪れそして豪雪、これらは近年発生する共通の異常気象である。

冬も夏が長くなり、秋が短くなっているという印象を持つ方も多いであろう。このような極端な気象は日本だけではなく、欧米でも毎年のように発生している。例えば西ヨーロッパの記録的猛暑も同様である。これら毎年発生する異常気象、このような異常な状態が「普通の天候」となってしまうのか、もしそうであれば、それに適応した農業へ急いで転換すべきであろう。また日本の農業のみを考えるだけではなく、世界の異常気象にも目を向けねばならない。なぜなら日本は食料の多くを輸入に頼っているからである。

未来の気象・気候がどうなるかというのであろう。それを知るためには、まず日本が地球の中でのどのような気候学的位置にあるかを理解しておくことが重要となる。

地球上で一番暖かい海域はパプアニューギニアからインドネシア付近である。そしてその海域から暖かい黒潮が日本に向かって流れている。したがって日本の南の海は同じ緯度の他の海域に比べて非常に暖かい。逆に日本の北のオホーツク海の北のシベリア極東地域は北半球で一番寒い陸地である。

また、オホーツク海は海水に覆われているが、オホーツク海は北半球で最も南に位置する海水が広く覆う海なのである。このように日本は、北半球で一番暖かい海と一番寒い陸と冷たい海に挟まれているのである。したがって、南風が吹けば極端に暑くなり、北風が吹けば極端に寒くなるのである。そのような地域は世界中探しても日本しか見当たらない。

寒暖に挟まれ特異な日本

日本は地球温暖化時代に突入する以前から、寒暖の激しい気候にさいなまれる地域であったのだ。北風が強く吹く

く夏は極端に冷夏になるのである。その代表例が、1993年や2003年の極端な冷夏である。タイ米緊急輸入や米泥棒が横行した年でもある。

地球温暖化に伴い、将来南風が吹きやすくなるのであろうか、それとも北風が吹くのだろうか、それが日本の未来の気候を知る鍵となるのである。

それを理解するには、偏西風の蛇行を理解することが重要となる。偏西風は西から東に吹く上空の風である。

ジェット気流とも呼ばれている。ジェット気流は、北の寒気と南の寒気の境界で吹く風で、ジェット気流の北側は寒く、南側は暖かいのだから、ジェット気流が蛇行し、日本を北に迂回するようになると膨らんだ蛇行が起こると異常に暑くなり、蛇行が南へ垂れ下がった場所に日本があれば、異常に寒くなるのである。偏西風が蛇行しなれば普通の天候になる。ほとんどの異常気象は偏西風の蛇行では説明がつかないのだ。

北極の気温高 広範に影響

近年は偏西風が激しく蛇行する年が増えているのだ。夏は日本の北を迂回する蛇行パターンが毎年のように生じている。しかもその蛇行の幅は数十キロにも達するので、日本全体が猛暑となるのである。

この蛇行を西に追ってみよう。日本付近を北に蛇行している偏西風は、中央シベリア付近では、逆に南へと蛇行している。そしてさらに西のヨーロッパでは、日本と同じように北へと蛇行しているのだ。つまり偏西風のうねりがヨーロッパと日本を北にうねり、シベリア中央部では南へうねっているのだ。

煙の軌道を想像すればわかりやすいであろう。近年同時発生する日本の猛暑とヨーロッパの猛暑は、偏西風の激しい蛇行に伴う同一の現象なのである。さらに西に遡ると蛇行は続き、アメリカでも蛇行している。つまりこの蛇行は地球を一周しているのだ。一旦どこかで蛇行が始まると、それがきっかけで、地球上のあちこちで蛇行が激しくなり、異常気象が世界へ伝播して連鎖する。これは交通事故がきっかけの交通渋滞が通か後方まで伝播するのと似ている。地球は丸いので、異常気象の連鎖は地球をぐるぐる回り、次から

次へと世界各地で異常気象が連鎖的に発生する。ではどうして近年偏西風が蛇行しやすくなったのだろうか。

偏西風の蛇行は川の蛇行と似ている。急流の川はまっすぐ流れゆくりと流れる川は蛇行しがちであることは、平野部を流れる河川の蛇行の例など、地図を見ても自明であろう。偏西風の蛇行もこれと同じである。偏西風の風速が速くなれば蛇行しやすくなるのだ。実は近年は偏西風の風速は遅くなっている。偏西風が遅くなっている理由の一つが北極温暖化増幅である。地球温暖化は低緯度よりも北極域で顕著であり北極の水がどんどん溶けていることはニュースなどを通して存じの方も多いであろう。これを北極温暖化増幅と呼ぶ。北極が極端に温暖化することで、低緯度と高緯度の温度差が小さくなるのである。

偏西風蛇行と海水温上昇が直撃



球温暖化といえは、気温の温暖化はかりに行きそうであるが、海も温暖化している。世界の海の中で最も温暖化の激しい海域が日本周辺である。世界平均の水温上昇に比べ日本周辺の海水温は約2倍の速度で温暖化している。これは暖かい黒潮が世界中の海流の中で最も流量が多い海流であることが理由である。

黒潮の起源は熱帯で、熱帯の熱を黒潮が運んでいるのである。海の温暖化が豪雨をもたらす理由は難しくないので、簡単に説明しよう。

農産物の価格上昇は自明

近年豪雨は、短集中型では無く、広域長期型と変わってきた。広い範囲でより長期間降るのが最近の豪雨の特徴である。昔は狭い範囲に短時間にドカッと降っていたので、被害地域もごく限られた地域限定型であった。近年の豪雨は長く降り続き、日本の広い範囲で降る傾向にある。当然被害地域は日本の広い範囲に及び、農業被害も同様に広範囲となる。

最近の豪雨は、短集中型では無く、広域長期型と変わってきた。広い範囲でより長期間降るのが最近の豪雨の特徴である。昔は狭い範囲に短時間にドカッと降っていたので、被害地域もごく限られた地域限定型であった。近年の豪雨は長く降り続き、日本の広い範囲で降る傾向にある。当然被害地域は日本の広い範囲に及び、農業被害も同様に広範囲となる。

以上から明らかなように、このまま放置すれば異常気象が頻発する状態が普通の気候となってしまうであろう。温暖化をなんとしても止めねばならない。そのためには、地球温暖化や異常気象の無関係の人数を減らすことが重要だと考える。

私の肌感覚では、無関係の人数はまだに日本の大多数を占めていると感じる。無関係の人数を減らすためには、危機感を煽ることも無駄であろう。関心を引くにはどうすればいいのか。人は物価に敏感である。農産物の価格が気象と大きく関係することは農業関係者の中では自明である。

気象に無関係の消費者に向けて、気象と農産物の価格の関係が分かるような、何らかの仕掛けがあれば、気象に関心を持つ市民が自動的に増えるのではないだろうか。スーパーの農産物の特売らしに、気温連動型の特価を設けるなども一計か。そうすれば買い物客は毎日気温をチェックするようになるであろう。

今こそ食料自給「国消 国産」いかそう人と大地

農業の適正使用（「緑の安全管理士」育成）を推進する
公益社団法人 緑の安全推進協会

会長 根岸 寛光

〒101-0047 東京都千代田区内神田三丁目3番4号
全農業ビル5階
電話 (03) 5209-2511 (代)
(03) 5209-2512 (農業電話相談)

JA 鹿児島県連

JA鹿児島県中央会	代表 理事長	山野 徹
JA鹿児島県信連	経営管理委員会 会長	中條 秀二
JA鹿児島県経済連	経営管理委員会 会長	柚木 弘文
JA鹿児島県厚生連	経営管理委員会 会長	山野 徹
JA共済連鹿児島県本部	運営委員会 会長	山野 徹

〒890-8515 鹿児島市鴨池新町15番地
電話 代表 (099) 258-5151

感動を、けずりだそう。
マルトモ

プレ節®
PREMIUM
Dried bonito

マルトモは、「プレ節®」です。

【本社】〒799-3192 愛媛県伊予市米湊1696番地 【TEL】(089)-982-1151 【HP】<https://www.marutomo.co.jp>

雪印メグミルク

ミルクから生まれる、おいしい恵み。

雪印メグミルク

YAZAKI LINEUP

YAZAKIは、総合メーカーとして豊富なラインナップでLPガス事業者様をお手伝いさせていただきます。

U-Smart

矢崎エナジーシステム株式会社
<https://www.yazaki-group.com/>

明日のために今をみつめています

森紙業株式会社

〒601-8441 京都市南区西九条南田町61番地
TEL (075) 681-2111 FAX (075) 692-2240

食料不安
1万人シンポ

生消 両思 い訴え

家畜会長は、生産力の低下など、いまの農業の置かれた状態に触れ「意識だけではなく、一人ひとりが自分のこととしていかに行動するかが重要」と「国産肉産月間の取り組みの意義を強調した。またＪＡグループサポーターの林修氏は、食料を海外にもとめることのリスクを指摘し、「環境にも国産、地産地消、ファーマーズマーケット、二酸化炭素削減に持続可能な

基礎研究部長が一定程度輸入に頼りながらもいかに国内農業を維持するかが課題と指摘。直接支払いなど、ツランやスライスなどの例を挙げ、食料自給率38%の持つ意味を問うた。

生産者を代表して全国青年組織協議会（ＪＡ全青協）の佐藤肇史会長は、最近の生産資材の高騰を挙げ「今年の20%のコスト高になつている」と現状を報告し、「我々は農

県の農場での実習から「農家の思いを知れば食料口はなくなるこの牛の体験を伝えることで、生産者・消費者の距離を縮めた」と述べた。

龍谷大学経営学部4年の西井善喜さんは、やはり滋賀県での農業実習の経験から、「伝えることと大切さを感じた」という。また若者が農業に就いているのをみて、その感動をSNSを通じて伝えて、広く知ってもらう

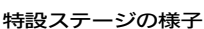
を購入していた女性は、「このマルシェの常連い」
「とも買い過ぎてしまふのの」
で、最近には家にある一番
大きなエコバックを持
つてくるようにしていま
す。売り場に並んだリン
ゴがおいしそうで、今回
もやっぱり買い過ぎてし
まいましたと話してい
た。また、ハクサイや近
所に住む女性は「子ども
が小さいので、普段から食
材選びには気を使っ

千曲川の氾濫により大きな被害を受けた、長野県のリンドの産地から届い

旬の味覚
一堂に

農相「食を見直す機会に」
秋

秋まつり



JAグループが「国産の日」と定めた10月16日、東京の有楽町駅前広場で「国産国産秋まつり2022」が開かれた。会場では全国の産地から届いた旬の農産物を販売するブースが設けられたほか、アイドルグループによる書のパフォーマンスなどが披露され、大勢の人でにぎわった。

JAグループは、国民が消費する食料はできるだけ国内で生産する「国産国産」を推進しようと、10月16日を「国産国産の日」と定め、10月に国産国産月間として消費者に理解を求める大掛かりなキャンペーンを展開している。

開会セレモニーでは、J・A主の中家徹会長が「日本の食と農、食料安全

保障の重要性について様々な観点から情報発信してきた。食を生み出す農や地域に関心をもちていただき、国産農畜産物を選ぶことで食を支えていかなければならない。キャンペーンを通じて、消費者の問題意識も高まっています。国内の食料利

特設ステージの様子

自給率はわずかに38%で日本のおなかを満たせる本の大変心配であり、国産国産を理解していただき、食を見直していただく」と呼びかけた。

このあと群馬県を拠点に活躍するお習字アイドル Menko i ガールズ が野菜の歌に合わせて書道ハフオーマンズを披露。国産国産の文字をステージ上で書き上げる大きな拍手がわき起こった。

会場には、旬の農産物を販売する「国産国産応援フェア」のブースが設けられ、長野の下ウ・シヤーマンスカットや青森のリンゴ、群馬の野菜など全国各地の農産物が並べられ、会場を訪れた人が長い列を作って買い求めた。また、期間限定で送料無料キャンペーンを実施した。

「たまたま有楽町に来ていて参加しました。国産国産は初めて聞きましたが、SDGの流しから治つていきます。広がってほしいと思います」と話ししていた。

また、世田谷区から訪れた女性は「友人と待ち合わせ中にイベントを知ってナスやリンゴを購入しました。安いし新鮮がいいですね。国産国産はいいですね」と話してテレビを通して知っていましたし、いい取り組みだと思いました」と話していました。

子ども2人と訪れた父親は「SDGイベントを知って子どもを連れてきました。国産国産は日本下次産業を活性化させる意味でもいい取り組みだと思います」と話していました。

JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」は10月13日、「国産国産」送無料キャンペーンを始めた。全国47都道府県の約4,000以上の商品がすべて送料無料で購入できる。

JAグループは「国民が必要として消費する食料はできるだけその国で生産する」という「国産国産」を提唱し、国連が定める「世界食料ア」に合わせ、10月16日を「国産国産の日」として2021年に制定した。

今年は「10月16日 国産国産の日を中心に、10月を『国産国産月』間と位置

づけ、全国規模で「国産国産の日」4,000万人キャンペーン」を実施中。継続的に国産農産物を購入するきっかけとして、「JAタウン」で「国産国産」送無料キャンペーンを実施する。

同キャンペーンは、全国各地の4,000以上の対象商品が送料無料で購入できる。

また、10月13日から「新規会員登録キャンペーン」も実施。期間中、新規会員登録すると抽選で1人がJAタウンの買い物で使える1,000円クーポン券をプレゼントする。

JAタウン 10月13日 国産国産の日

JAタウンで旬の食材を国産国産送無料キャンペーン実施

国産の農産物を使って「国産国産」を実現しよう

国産国産とは

国産国産 送料

鹿兒島、宮崎に名誉賞
曾於高校も優等一席

鹿兒島
全共



第12回全国和牛能力共進会 優等賞1席一覽

「和牛のオリビック」 ともいわれる「第12回全 国和牛能力共進会」が、10 月6日から5日間にわた って鹿児島県で開かれ た。過去最多の438頭	が出品された今大会で は、地元鹿児島県が全9 出品区のうち6つの区で 優等賞一位を獲得。大会 の最高賞となる名誉賞	牛の部で鹿児島県、「肉 牛の部」で宮崎県代表 が選ばれた。
(内閣総理大臣賞)は、「種 牛の部」で248頭	大会では、全国41道府 県が選ばれた代表とし	

頭、肉牛の部で166頭
ながが鹿角島に集結した。
「種牛の部」会場では、
出島良の生産者、関係
者が出生に早朝からシ
ヤンパーをするなど、出品
牛の手入れや牛をきれい
に立たせる調教を行い、
県代表牛としての威信を
かけた戦いに備えてい
た。

初日の開会式を終える

出品牛は、5万6440円[※]と、前回宮城の価格を上回る結果となった。

今大会では、地元鹿角県が出品区9部門のうち

送った。また、野村哲郎農相や森山裕中央畜産会会長も出席した。

次回の大会は2027年に北海道で開かれる。

【鹿角県発】

内閣総理大臣府

第12回全国和牛能力

出品区	
1	若雄
2	若雌の1
3	若雌の2

種牛の部	4	繁殖雌牛群
	5	高等登録群
	6	総合評価群
肉牛の部	7	脂肪の質評価群
	8	去勢肥育牛
特別賞	高校・農業大学	

市が開かれた。第7区の出品者が10万円／キと衝撃の価格がつき、会場がうごめきが上がる一幕もあった。一方、最優秀技術賞を獲った、鹿児島市の「日置製作所」に、あいさつを述べた。大会への現職の首相の出席は初めて、岸田首相は閉会式終了後に内閣総理大臣賞受賞生を親観し、生産者と努力を労う言葉を

を受賞した第4区・繁殖雌

進進会 優等賞 1 席一異		出品牛
県		
鹿児島		
大分		
宮崎		

	鹿児島		て
	鹿児島		
	鹿児島	種牛群	すみいかり
		肉牛群	速
	宮崎		弘一第33
	鹿児島		
交	鹿児島		

めに牛に声を掛けながら審査に臨んだ。同区の優等賞一席を鹿児島県の首長高校が獲得すると、鹿児島の応援団長から拍手と万歳が湧き起こった。

鹿兒島県代表、肉牛の部で7区(脂肪)の質評価群、優等賞一席の高崎県代表が受賞した。

閉会式には、岸田文雄首相が出席し、内閣総理

つる	招 正入
はな	藤山 粋
さき	落合 新太郎
つる	
つみ	宮園 春雄
くろ	
ひめ	鶴田 くみ
み92	
でこ	上別府 横
さきよ	前田 龍二
亀吉	関江籠斎産
司37	俣中山斎産
1154	新地 正清
尚栄	佐藤 李輔
5203	俣馬場牧場
太郎	神田 山子
南迫	俣うしの市
えな	県立曽於高校

と聞いのは本番に。8日か
ら各反の等級が決定され
た。まず特別区(農業大学
校・高校)生に参加した高
校生には大きなプレッ
シャーのなか、出品者を審
判員によく見てもらった
ち6部門で優秀賞1席を
獲得し、日本一の産地を
日めて印象付けた。最終
的には、最高賞の名産賞
に、総料理人臣賞が選ば
れた。種々の部では、繁
殖雌牛群、優秀賞1席の

米作況全国で「100」

現 9月25日 在 予想收穫量 670万ト

農林水産省は10月14日、2022（令和4）年度水稻の作付面積と9月25日現在の予想収穫量を公表した。 22年産水稻の青刈り面積を含む作付面積は154万5000畝で前産に比べ1万9000畝の減少が見込まれる。うち主食用作付面積は125万1000畝で前産に比べて5万2000畝の減少が見込まれる。 主食用の作付面積が130万畝を下回ったのは主食用作付面積を公表し始めた2008（平成20）年以来初めて。当時は159万6000畝だった。 9月25日現在的水稻の作柄は、北海道、東海近畿、中国、四国で連年以降の天候に恵まれ、全もみ数が平年以上に確保された。 一方、東北、北陸、関東・東山や九州では6月前半の低温と日照不足、7月中旬の日照不足で全もみ数が平年を下回る地域や、8月上旬から大雨と日照不足、9月以降の台風による影響で登熟が平年を下回る地域があった。	20（秋田県、栃木県、山梨県、長野県、静岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）で平年並みとなり、27府県となった。「やや不良」となった秋田県では、全もみ数が平年より少なう推移したことに加え8月の大雨とのその後の日照不足が影響した。 2022年産の主食用作付面積は前年実績（130・3万畝）から52万畝減（▲40・0％）の12万5・1万畝となった。
---	--

とされた。

その後の確認でさらに9,000トン増えた。農水省によると、6月末時点での確認できなかった畑地が3,000トンほど定着していることや、高齢化による不作付地（3000トン）、飼料用米へのさらなる仕向け（3000トン）などで積み上がったという。

主食用米の作付面積は2年連続で全都道府県で前年より減った。

2018（平成30）年度から国による生産数量目標の配分が廃止され、

を仕向けるなどの取り組みが現場で行われている。2021年度では専用品種の作付率は39%となっている。今後の検討にあたっては今年の作付が転換の成果と現場の実態をふまえた検討が求められる。

第43回農協人文化賞決まる

「農協運動の仲間達が贈る第43回農協人文化賞の選考委員会が10月4日、東京都内で開か

理事組合長 群馬農業協同組合中央会副会長 群馬県	○佐藤茂良氏 秋田 いせい農業協同組合代表理事事務（秋田県）	○池田省一氏 清水農業協同組合前常務理事（現在清水農業協同組合營農経済アドバタイザ） 静岡県	○由井和仁氏 長野八ヶ岳農業協同組合代表理事組合（長野県）	○岡田源治氏 株式会社三鷹フアール代表取締役社長（東京都）	○深町琴一氏 筑前
県経済農業協同組合連合会経営管理委員会会長（鹿児島県）	○松永大吾氏 静岡県経済農業協同組合連合会経営管理委員会会長（静岡県）	【共済事業部】（2名） ○大木清志氏 いるま野農業協同組合代表理事組合長 埼玉県	○松田保氏 沖縄県農業協同組合元常務理事（沖縄県）	【信用事業部】（2名） ○堤武彦氏 唐津農業協同組合代表理事組合長（佐賀県）	

改善するには22年産では
▲3・9万ポの作付け転
換が必要とされていた。
が、各地での取り組みの
結果、6月末時点で目
標を回る▲4・3万ポ
飼料用米については専
用品種での作付けも検討
されているが、主食用米

○肥島秀行氏 佐波伊 【経済事業部門】（2名）	○堀尾茂之氏 岐阜卓
---------------------------------------	-------------------

第43回農協人
文化賞決まる

第43回農協人
文化賞決まる

全国農業地域・都道府県別作況指数（9月25日現在）

作柄の良否（作況指数）

■	良（106以上）
■	やや良（105～102）
■	平年並み（101～99）
■	やや不良（98～95）

北海道 106

東北 99

北陸 100

関東・東山 99

中国 101

近畿 101

四国 103

東海 100

九州 99

沖縄 96

全国 100

周知で需要に足した生産者が求められるようになったが、農水省によって「22年度で初めて（需給改善に）必要な転換面積を超えて作付け転換が進んだ。需要に応じた生産をしていく」という意識が定着、着実に広がっているのではないかとみる。

とくに今年度は高収益作物等畑地化支援（10戸17・5万円など）を活用して畑地化を進めた面積がまとまって確認されたという。

主食用米以外で大きく

【営農事業部門】9名

全部門の受賞者から選ばれた。表彰式は2022年3月26日、東京・大手町のエヴェル・X（エー・エックス）東京會館（アーバン・大手町ビル21F）で開かれる。

農協文化賞は農協法公布周年を記念して昭和52（1977）年に創設。多年にわたる献身的に農協活動の発展に寄与した功績者を表彰するもの。今回は7部門、特別賞も含む24人が受賞した。

常務理事本部長（島根） 業協同組合出雲地区本部 ○珍部誠氏 島根県農 業協同組合元常務理事 （山梨県）	表理事本部長（福岡県） ○石川幸太郎氏 常陸 業協同組合奥久慈枝物 部会長（茨城県） 【一般化部訓】（4名） ○高橋正氏 宮城県農 業協同組合中央会前会長 （宮城県） ○明田作氏 株式会社 農林中金総合研究所客員 研究員（東京都） ○千國茂氏 あづみ農 業協同組合代表理事組合 長（長野県） ○仲澤芳美氏 梨北農 業協同組合元常務理事 （山梨県）	業協同組合代表理事本部長（大分県） ○大川原一巳氏 大分県 業協同組合代表理事本部長（神奈川県） ○神奈川県 厚生事業部訓（1名） ○前原和平氏 福島厚 生連白河厚生総合病院名 誉院長（福島県） 【特別賞】（2名） ○古村伸宏氏 日本労 働協同組合連合会理事 長（東京都） ○【故人】松岡公明氏 元農林漁業団体職員共 済組合理事長（東京都） 【女性枠】（1名）
--	--	--

「国消 国産」いかそう人と大地

経済・健康格差解消への道程に

生産行動の 変革にも

すでに国内で定着している言葉に「地産地消」があるが、数年前から「地消水産」は、飼料自給に向けた取り組みの

産農家・畜産企業が廃業・倒産した。農水省は、飼料自給に向けた取り組みの

J A構想の 一里塚に

ものでは、「國産國産」というのであれば、コナノ楯で広がり都市部の「食の貧困拡大」という向き合うかという課題もある。都市部で食の貧困が拡大する一方、農村ではコナノ楯による外食需要の激減で「米余り」が深刻化する。

理想論といわれるかもしれないが、その目的に向けて、農業者も消費者も安心して暮らせる生産と消費の関係づくりに向けた取り組みと政策提言こそ、協同組合であるJAが主導してほしいと願っている。

安心社会に
つなげて。

排外主義と 一線を画す

「安全・保障」と国家主義・排外主義を
結びつけた言動が登場し始めて、こ
れは、協同組合であるＪＡグループ
に、本意でないはずで、注意が必
ず必要だ。

その目的に向けて、農業者が消費者
安心に暮らせる生産と消費の関係つ
くりに向けた取り組みと政策提言こ
そ、協同組合であるＪＡが主導してほ
しいと願っている。

自動運転アシスト機能付
Agri Robo DR6130A

収穫の未来を予測する。

最も合理的なルートを、予測する。最も能率的なターンを、予測する。最も効率的な排出を、予測する。
周囲刈りで作業マップを自動生成すれば、あとは、自動運転アシスト機能が「匠刈り」。

自脱型コンバイン初、自動運転アシスト機能搭載。
Agri Robo DR6130A 誕生。

挑戦する経営者たちへ。

クボタスマート農業

アグリロボコンバイン
DR6130AのWEBサイトは
こちらから

Agri Robo シリーズ

自動運転機能付トラクタ

WEBサイトは
こちらから▼

MR1000A (有人/無人仕様)
※写真は無人仕様です。

自動運転機能付田植機

WEBサイトは
こちらから▼

NW8SA (有人/無人仕様)
※写真は無人仕様です。

自動運転アシスト機能付
コンバイン

WEBサイトは
こちらから▼

WRH1200A2

株式会社 **クボタ**